

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 11 月 28 日 (19 : 30～21 : 00)
------------------	-----	-------------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	荳口・川村・花田・清藤・塩満・梶原・矢野・秋丸・福島・笹田・中村・桃木野
--------------------	------	--------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	12人	0人	0人	12人

前回の改善計画	⇒ご本人とご家族の想いを理解できる。 《いつ》 様々な場面で 《どこで》 本人の居場所で 《誰が》 私たちが 《なにを》話を聴く 《どのように》 1対1で ※見たこと、聞いたこと、思ったことを記録する。
前回の改善計画に対する取組み結果	できるだけ話を聴くことができた。間をおいて観察することができた。一対一での機会を増やすことができた。他の方とつなぐことを意識して関わることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	6	4	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	8	1	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の顔を見て、笑顔に努めた。 ・他の方との関係づくりへの配慮をしている。 ・不安や必要としていることを考えられた。 ・好きなことや本人の話を聴き、関係づくりに努めた。 ・じっくり傾聴しコミュニケーションが少しずつとれるようになった。 ・声掛けを積極的に行うことができた。これらの理由として、まず「関わり」なくして情報は得られない。また得るためにも関係づくりが必要であるという認識が浸透してきている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の前を素通りしてしまった ・情報を書類等からも収集することができなかった。 ・対面時の声掛けが上手くできない。 ・利用開始時の情報の理解不足 ・特定のスタッフに任せてしまう自分がいた。 ・知っている人もいれば、知らない人もいる。 ・情報収集の時間をつくれな。これらの理由として、まず自ら「知ろう」とする意思の発動が弱いこと。その人への知りたいという興味が薄いことが挙げられる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>【ご利用者の利用開始から 10 日間集中的にその人と関わりの中で得た情報を収集し見える化する】</p> <p>《いつ》 利用開始から 10 日間 《どこで》 関わった場面、情報を得た場面⇒事務所にて 《誰が》 スタッフ全員 《何を》 ご本人に関すること全て 《どのように》 付箋一枚に一つの事柄とスタッフのサインを明記して貼り付ける。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 28 日 (19 : 30～21 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 荳口・川村・花田・清藤・塩満・梶原・矢野・秋丸・福島・笹田・中村・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	5人	1人	12人

前回の改善計画

⇒ご利用者へのケアや本人の「～したい」を実現、支援できる。
 《いつ》《どこで》木曜日のカンファレンス 《誰が》私たち (出勤者)
 《なにを》本人の「～したい」を実現するために
 《どのように》日時、場所、人、モノ、金、など具体的に決める。
 ※その際に、ご家族や知り合い等からの意見を聞く

前回の改善計画に対する取組み結果

カンファレンスを定期的を開催することができず、具体的なプランを計画立てることが難しかったが、その時々にもその方のやりたい事や家族からの要望を聞き、計画して実行することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8	3	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	10	1	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	5	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7	3	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・プランを確認し把握できた。・本人の想いを記録に残せた。・自ら出来ることを見守った。・ご本人が今何をしたいかを聞くことができた。・最低限その人に必要な事柄は実践できた。・日常になにげない場面でしたいことを聴くことができた。
 これらの理由として、その人の～したいを実現できることが自分たちの仕事という認識が生まれてきている。その人がその時に～したいということを実現できるように柔軟にスタッフが連携をとっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご利用者全員の～したいの把握。・カンファレンスの定期的開催。・その日によってのその人の言動にズレに戸惑う。・得られた情報の共有・プランの目標の意味の理解。
 これらの理由として、アセスメントから理解できていない。できることまで手を出してしまう。観察力が足りない。ゴールに向けて、現状の意識にバラつきがある。言葉の情報がその時になると忘れていく。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

【ご利用者の言葉があるがまま記録に残す】
 《いつ》日々関わりのある場面《どこで》関わった場⇒記録を残す場《誰が》スタッフ全員《何を》その人の言葉《どのように》①ケア記録の本人欄にその人の「言葉」をそのまま記録②その時の介護者の言動を介護者欄に記録する

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 12 月 3 日 (19:30~21:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	荳口・川村・花田・清藤・塩満・梶原・矢野・秋丸・福島・笹田・中村・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人	0人	12人

前回の改善計画	⇒スタッフそれぞれが気づいたことを共有できる。 《いつ》自分が気づいた時《どこで》気づいた場面で 《誰が》気づいたスタッフ 《なにを》体調の変化・本人の思い・これまでの暮らしぶり・本人の力(能力)・苦手になった能力 《どのように》口頭でスタッフへ伝え、記録に残す。記録はまず、「～かいシート」に記録する。 記録物を確認するときは、対象者だけでなく、他のご利用者も確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	～かいシートが具体的であり、日常生活に必要な情報が記載されており、それを通して共有することも可能になった。その反面、その情報から読み取れるものは各スタッフでズレが生じている部分もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	1	8	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	6	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	9	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	2	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ケア記録の地域欄を意識し記録をとろうとした。・申し送り書を活用してその都度検討して情報共有を図った。・以前の暮らしや現在の状況を知ることができた。・体調変化の気づきはスタッフですぐ伝達した。・変化を記録に残した。・食事の形態や介助方法の改善に向けて皆で取り組めた。・ご利用者の自宅の状況により変化に気づくことができた。これらの理由について、ケア記録の地域欄のある意味を理解できるスタッフが増えた。口頭で情報を交換できるスタッフ間の関係が構築できている。情報を整理する手法に工夫ができた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・本人の内面がどのようなのか話し合う機会がつかれていない。・申し送り書への記録。・本人の力を引き出すこと。・以前の暮らし方10個把握。・いつの間にかケアの方法が変更されていることがある。これらの理由として、スタッフ任せになっている。積極的な提案や行動がとれない。口頭での申し送りが全てのスタッフに伝わっている。コミュニケーション技法が未熟。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 【カンファレンスの事前準備を具体的に】 《いつ》気づいた時《どこで》気づいた場面⇒記録する場《誰が》スタッフ全員《何を》テーマに沿って意見を抽出する《どのように》①A3用紙の中央にテーマを明記したものをバインダーで置く。そこへスタッフが気づいたことを書き込み、記録者のサインを入れる。※気がかりな事柄からテーマを決めておく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 12 月 3 日 (19:30～21:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	笠口・川村・花田・清藤・塩満・梶原・矢野・秋丸・福島・笹田・中村・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	1人	12人

前回の改善計画	⇒地域の状況、資源を全スタッフが把握できる。 《いつ》《どこで》事業所以外の方とお話しができる時《誰が》私たちが 《なにを》地域の行事、イベント、その人の地域での役割等を 《どのように》まず、自分から挨拶をして、顔見知りになり、その内容を聴くことができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	挨拶を積極的に実践することができた。それにより、地域の方が気軽に話しかけてくださったり、事業所内に入ってこられることもあった。ほか、全員とはいかなかったが、地域行事を知り、出来る限り地域のご利用者と共に参加することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	2	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	7	2	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	3	6	2	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	7	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> これまでの暮らしを本人から直接伺いケアを検討する。 自分から挨拶すること。 本人のなじみのある場所に出向くこと。 地域行事に地域のご利用者と共に参加。 ご家族に暮らしの事を聞く。 地域と協働する機会をつくった。 家族の力を活かす。協力を得る。これらの理由として、訪問サービスを積極的に展開すると共に、その人の生活スタイルを知り実現しようとする共通認識が生まれている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 民生委員さんの名前を知らない。 地域との関わりが薄かった。 直接関わる場面以外の過ごし方を知らない方がいる。 知り得た情報をケアに繋がられない。 地域イベントへの参加。 申し送りの不十分さ。 泊まりサービスの多い方のこれまでの暮らしぶりが把握できていない。 これらの理由として、本人の暮らしに関する人やモノ等を具体的に繋げることが不十分であったり、その方々との直接的な関わりは特定のスタッフに限られている。他、事業所の流れに偏っている傾向にある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>【「挨拶」から積極的に始める関係づくり】</p> <p>《いつ》出会った時《どこで》出会った場面《誰が》スタッフ全員 《何を》挨拶を《どのように》自ら積極的に丁寧に挨拶を実践する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 12 月 21 日 (19 : 30～21 : 00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	笠口・川村・花田・清藤・塩満・梶原・矢野・秋丸・福島・笹田・中村・桃木野・岩下・川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画	⇒変化に対して全員が把握し共有できる。 《いつ》変化に気づいた時《どこで》変化に気づいた場面で《誰が》スタッフが 《なにを》その人の言葉、行動、身体的変化(体温、脈、血圧、排泄、水分摂取量、睡眠、食事量、薬の服用等)や、その人の周りにいる人、家族、モノの変化といった“事実”情報を 《どのように》日勤帯スタッフ⇒夜勤帯スタッフ⇒早出・日勤スタッフ⇒遅出スタッフへ口頭及び記録物でシフトチェンジするときに申し送りを徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	朝礼等で、夜勤帯のことを申し送りができていた。口頭でも申し送りを行うことができた。日勤帯から遅出には口頭と申し送り書で報告した。変化時はリーダーさんたちに報告をすぐに行った

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	5	4	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	7	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	9	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ご利用者の変化、ご家族の要望を聞き、検討し柔軟な対応ができるようにスタッフで共有できた。・体調の変化にすぐに対応した。・変化時はバイタルチェックで経過を観た。自治会との連携で支えることができた。・訪問看護とのホウレンソウができた。・本人に希望を聴き対応できた。・訪問時の変化はすぐにリーダーへ報告した。・ケア記録を詳しく記録した。これらの理由として、本人、ご家族の希望に沿うことの認識がある。また、関係者との連携、指示を仰ぐ必要性の見極めができるようになっている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・訪問内容の意味や必要性に対して理解が浅い。・地域資源を活かせず事業所だけで支えている。・地域と本人の繋がりが少なくなっている。・行きつけのお店を利用できていない。・申し送りが不十分・記録をミーティングに活かしていない。・その人の心の変化に気づいていない。・文面での情報共有が、全スタッフの実行まで至っていない。これらの理由として、スタッフでケア内容の意味が深められていない。ミーティングの活用が未熟である。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 【その人と関わりのある事柄をケア記録の地域欄へ明記する】 《いつ》本人、ご家族、地域との関わりの中で《どこで》関わりの中で《誰が》スタッフ全員 《何を》人、場所、モノ、これまでの経緯等の情報を《どのように》ケア記録に記す際に、「地域欄」へキーワード(固有名詞)を転機する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 5 日 (19 : 30～21:00)

6. 連携・協働

メンバー 荳口・川村・花田・清藤・塩満・梶原・秋丸・福島・笹田・中村・桃木野・岩下・川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	7 人	2 人	2 人	12 人

前回の改善計画	⇒地域のイベントや活動等の情報をスタッフは全員が把握することができる。 《いつ》毎月《誰が》管理者および主任が、スタッフ全員に対して 《どこで》勤務計画表上で《なにを》地域のイベントや公民館活動、地域住民の方との協働した活動等を 《どのように》スタッフが把握しやすいように、勤務表の計画に記載し、勤務が組まれる前に 予定を紙面で示す。それを各自確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月、勤務表上に行事・活動が明記され、できるだけスタッフが交代で参加できるように工夫することができた。しかし、スタッフがどうしても固定化される傾向もあり、意識が低くなることもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	5	5	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	4	6	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	5	3	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	6	1	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ビューティフル作戦が実施でき地域の方との交流ができた。・地域の高齢者や子供たちの出入りが多かった。・勤務表の中に地域行事も表記している。・近所の方へ積極的に挨拶をしている。・地域の行事にもスタッフで協力して参加している。・その理由として、地域コミュニティ役員をさせていただいたり、ご利用者を中心とした地域参加の意識が定着してきている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・スタッフによって自治体や包括支援センターとの会議には参加していない。地域活動に参加ができなかった。その理由としては、スタッフの役割によって、参加するスタッフは固定化している。そのメリットとして固定した方がお互いに顔を覚えやすいこともあると考えている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 【地域との協働イベントの開催】 《いつ》平成 29 年度内《どこで》萩原を中心とした地域で《誰が》スタッフと地域住民、行政、学校機関、医療・福祉事業所等皆で《何を》ゴミ拾い活動《どのように》地域住民が主体となるよう皆でイベントを作り上げていく過程を大切に進める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 5 日 (19 : 30~21:00)

7. 運営

メンバー 荳口・川村・花田・清藤・塩満・梶原・秋丸・福島・笹田・中村・桃木野・岩下・川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人	0人	12人

前回の改善計画
 ⇒自分の意見をスタッフに発言することができる。
 《いつ》月一回の研修及び会議前《誰が》スタッフ全員
 《どこで》研修及び会議の場で《なにを》研修内容、会議に内容を
 《どのように》その内容を各自確認して、会議での意見を整理して、意見が項目に対して一つは発言できるように準備を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
 できるだけスタッフが自分の言葉で発言できるような討議法を用いたりした。しかし、事前に議題がスタッフ全員が共有できずに準備や整理が出来ていなかった。もっと自分たちで議題を持ち寄り、自分たちで話し合いが持てるようにしていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2	6	2	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	2	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	4	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	6	2	2	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・ご家族からの要望や、苦情等はすぐに申し送り書に記録して共有している。・声掛けおじさんや柘城コミュニティ協議会に所属して活動できた。・ご家族とは積極的にコミュニケーションをとっている。・朝ゴミ拾いをしたりご利用者と散歩しながら地域の方へ挨拶している。・職員会議の場で意見が言えている。その理由として自治会を中心に事業所で地域に貢献できることを見つけようとする意識が根付いてきている。地域の方もよかあんべがどんなところか理解が広がってきている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・事業所に対して意見を言うことはない。・地域との協働の場に参加できないスタッフもいる。・地域と関わり方が分からない。・運営に関わりがない。・地域の方の困りごとを理解していない。その理由として、ご利用者の介護と地域とのつながりの必要性を理解できていない。また、地域へ出ていくスタッフが固定されている傾向がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

① 【家族と意見を交換できる場づくり】
 《いつ》今年度末《どこで》家族が交流しやすい場所《誰が》スタッフとご家族《何を》よかあんべの運営について《どのように》事業所の取り組みの報告や運営方針等の共有、他ご家族の意見を聴く

② 【地域との協働の場への参加】
 《いつ》一年を通した様々な地域の方との協働の機会《どこで》その機会の場で《誰が》スタッフ全員《何を》参加し触れ合う《どのように》必ず、スタッフは年一回以上その場に参加することができる

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 5 日 (19 : 30～21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 荳口・川村・花田・清藤・塩満・梶原・秋丸・福島・笹田・中村・桃木野・岩下・川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	3人	0人	12人

前回の改善計画
 ⇒インシデント・アクシデントレポートを積極的に作成して、スタッフで話し合うことができる。
 《いつ》ひやり、はっとした事案が発生し、レポート作成の必要生性があるとき
 《誰が》スタッフ全員《どこで》職員会議及びカンファレンスの場
 《なにを》レポート内容について《どのように》レポートの流れに沿って、事実を確認した後、その原因についてご利用者の視点、スタッフの視点、その他幅広い環境の視点で探り、ケアの質の向上に活用する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ひやりはっとした事案が発生したときに、その時勤務していたスタッフを中心に作成することができたが、その理由を整理して、適確に記録することが難しいこともあった。また、カンファレンスができたり、できなかったりだった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	9	0	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	3	4	12
③	地域連絡会に参加していますか	2	1	5	4	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	6	3	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・その時々で報告できた。・職場内研修に参加できた。・連絡会の交流会等に参加ができた。・外部研修のお知らせを提示した。・インシデント、アクシデントの記録を自分なりに報告できた。・リスクを予測してケアしている。これらの理由として、毎月一回の職場内研修は参加することが義務付けられており、その意識が高い。できるだけ多くのスタッフに他の事業所との交流の機会を与えることを意識してきた。インシデントアクシデント記録が定着してきた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・自ら研修や連絡会の機会を得ようとしていない。・様々な外部研修はあるけど参加までいかない。・資格取得も同様。・環境面のリスクを感じていたが後回しになっていた。・認知症の人のリスクマネジメントを理解していない。・緊急時以外のカンファレンスが出来ていない。その理由として、皆スキルアップの情報を得られる環境にありながら、自ら動くところまでの意識が低い。定期的なカンファレンスが実施できていない為、課題が見つからない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
【自分たちで年間研修計画を立案できる】
 《いつ》平成 28 年度 2 月 3 月の職員研修《どこで》よかあんべの職員研修にて《誰が》スタッフ全員《何を》職場内年間研修計画《どのように》まずは、学びたい要素を抽出して、全員で学ぶ必要のあるものを整理して計画を立てる。ほか、個人のスキルアップ内容や、組織が求めるスキル内容に分類も反映できるように整理する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 5 日 (19 : 30～21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 荳口・川村・花田・清藤・塩満・梶原・秋丸・福島・笹田・中村・桃木野・岩下・川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	8人	0人	0人	12人

前回の改善計画
⇒本人の想いを察し、本人へ配慮した声掛けを行い、介助ができる。 《いつ》その時 《誰が》 スタッフ全員 《どこで》 トイレ、お風呂場、個室等 《なにを》 ドアを《どのように》 ゆっくり2回ノックして声をかけ、返事を待ち、入室する（ドアを開ける）
前回の改善計画に対する取組み結果
決めたときは、皆意識してできていたが、次第にできない場面も増えてきた。いつもの行為に慣れてしまうようだった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	4	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	5	7	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	3	3	2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	6	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・場面や、声の大きさ、目線等に気を付けている。・さりげなくお誘いして、身だしなみを整えていただいたりした。・身体的、心理的、性的、ネグレクト、経済的これらの虐待をしていない。・個室に訪室する際にはご利用者に了承を得て入室した。・大きな声でトイレに誘わない。これらの理由として、スタッフそれぞれに何が虐待になるのか？知識的にも深まってきている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・虐待ではないが、温かい心で接していない時がある。・誰がどんな制度を使っているのか把握していない。・ご利用者の行動をその時に状況で制限してしまう。・1人1人がゆっくり落ち着ける環境を整えていない。・成年後見制度の中身を理解していない。・言葉による虐待に気づいていないことがあるかもしれない。その理由として、本人からみて不利益なことはなにか等、不明確である事柄なのに、それらを皆で話し合う機会ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	【できる行動を継続できる】 《いつ》その時 《どこで》 ご利用者との関わりの中 《誰が》 スタッフ全員 《何を》 皆で決めた行動を《どのように》 ①目線を合わせる②その人の名前を呼ぶ③ドアはノックこれらを継続する。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	14	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	14	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	12	0	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	12	0	2

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- ・職員皆さんで取り組んでいるようで良かった。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・忙しい中で、スタッフ一人一人がご利用者に向き合っている姿がみられた。
- ・スタッフ自身で厳しい評価をしていると思った。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

- ・5Wで具体的に出されていてわかりやすい。
- ・ご利用者の担当スタッフがいないと情報共有に困ることがある。
- ・きめ細やかにされている。
- ・民生委員の名簿は市報にものりますので参考にされては。
- ・スタッフの顔がわからない。
- ・介護者のケアも大切ですね。
- ・地域住民の中で自ら支援を求める人は少ないのではないか。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・ご利用者、御家族の評価が最も大切なのではないか？
- ・本人、家族の評価をどのようにとるのが課題

【改善計画】※後日記入

- ・事業所自己評価で取り組んだ、9項目の具体的な改善計画を丁寧に実行し、運営推進会議の場でその都度報告を行う。
- ・出会うご利用者一人一人について、どんな情報をどのように集めていく必要があるのか、そこからどのようにケアを展開するのか？その人の必要とする方々と共に実践することができる。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11	0	3
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	14	0	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	14	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	13	0	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	13	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・外壁もなくなり、入りやすくなった。
- ・臭いなども気にかからない。

【前回の改善計画】

- ・季節柄体調管理面でなかなか外に出られないこともあるでしょう。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・塀も低く、玄関も鍵もかかっていないので入りやすい
- ・いつも戸も開いているので良い。
- ・外壁が低くなり、交通事故も以前より少ない。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・物理的環境面への配慮は継続しながら、私たち自身が地域へ出向き関係づくりを図っていく。
- ・夜間のみ施錠は継続する。
- ・上半期はスクールガードを通して子供たちの安全を守るよう旗を持ち交差点を見守る。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	13	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	14	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	9	0	5
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	12	0	2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	14	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・だいぶ、よかあんべさんのことは理解されていると思う。
- ・サロンや防災訓練、地域コミュニティ活動へ参加している。

【前回の改善計画】

- ・スタッフの顔がわからない。
- ・地域活動に参加するスタッフは覚えられる。
- ・挨拶は私たち大人がまず率先してする必要がある。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・あいさつは◎です。
- ・出会った方々と、誰とでも挨拶を交わすことが大切だと思う。
- ・子供たちも、学校帰りに立ち寄る姿もある。

【改善計画】※後日記入

- ・朝のゴミ拾い、挨拶は徹底して取り組んでいく。
- ・地域行事には、ご利用者が参加することができるようにスタッフも同行する。
- ・地域行事には、できるだけ多くのスタッフが交代で参加できるようにする。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11	0	3
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	10	0	4
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	9	0	5
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	14	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	7	0	7

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域の民生委員さんや、助けてくださる近隣の方々を交えた会議ができています。

【前回の改善計画】

- ・よかあんべさんへくる相談を私たちに伝えてくださり共有できてよい。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・季節によって違いを感じる 外でのお茶、食事の風景が見られるときと、なかなか見かけないときがある。
- ・民生委員の名前は市報に掲載されることになっている。それで確認できる。

【改善計画】※後日記入

- ・総合事業の地域での取り組みにおいて、ご利用者が地域に出ている場を地域の方々とつくっていくことができる。
- ・その人の地域での暮らしを支える人やものを知り、その人たちに知らないことや相談を持ち掛け、一緒に解決する姿勢を持つ。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	12	0	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	14	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	11	0	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	14	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	14	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・見守り活動をする方々への帽子やジャンパーなどをあればという意見があったが、そのままになっている。
- ・他の事業所の運営推進会議で地域住民の個別的な検討はあったりするのか？

【前回の改善計画】

- ・ビューティフル作戦は多くの方が参加できてよかったと思う。
- ・地元新聞に取り上げられたこともよかった。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・民生委員やアドバイザーには防止や襷もあるが、他の目印もあったらよい。
- ・ご本人の自覚が無い方の見守りは難しいことがある。
- ・他の地域ではゴミ出しをサポートする為に目印を掲げ、そこに手伝いと見守りが働くようにしているところがある。

【改善計画】※後日記入

- ・加治木ビューティフル作戦を地域の方々と協力のもと開催することができる。
- ・総合事業の取組みを通して、地域主体の考えを念頭に当会議のメンバーへの相談、企画等を行っていく。また、その経過を報告するよう努める。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	12	0	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	9	1	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	10	0	4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4	10	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	12	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・これまで防災訓練の運営推進会議のメンバーで参加した方はおられるのか？
- ・柁城校区や自治会の防災訓練にも参加されている。

【前回の改善計画】

- ・防災計画を知りません。
- ・防災訓練等の予定を教えてほしい。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・災害時は心強い
- ・台風時の登録者以外の方の泊まりが有り難い
- ・地域評価の項目については、スタッフも確認をしたほうが良いのではないかと？

【改善計画】※後日記入

- ・防災訓練の開催の計画を当会議メンバーへ報告し、できるかぎり地域住民と協力して実行できるようにする。
- ・柁城校区、自治会の防災訓練へ参加する。
- ・台風や災害は状況を予測しながら、事業所の開放等の情報提供を自治会へ行う。
- ・火災他、大災害時の避難の手段を具体的にしていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 浪漫	代表者	代表取締役 黒岩 尚文	法人・ 事業所 の特徴	①地域とのつながり（地域交流スペースの解放と活用・自治会への加入と自治会活動への参加・ボランティア）②子ども110番、始良市認定「介護の相談 語らい処」の設置③地域行事への参加、朝のゴミ拾い④ライフサポートプランの導入⑤タッチフォンの貸与⑥認知症の人の、ひもときシートを活用したカンファレンス⑦家族会の実施⑧社会貢献活動の受け入れ⑨体操教室の開催⑩始良市地域支え合い体制づくり事業での住民協働のゴミ拾い活動の開催⑪加治木・宝島に同一法人の事業所があり、また北海道にも関連事業所がある。お互いに連携を図り刺激し合いながら実践を共有し合っている。職員交流も行っている。⑫始良市小規模連絡会に所属しており、情報共有を図っている。
事業所名	共生ホーム よかあんべ	管理者	荳口 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	8人	0人	1人	2人	1人	2人	1人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価において、実施している具体的事例を提示できるように定期的な運営推進会議での説明や次回評価時において報告を行う。 これまでと変わりなく、理念に沿って出会った方との関係を大切にしていき、その人の暮らしを支える視点で、その人の地域に向向いていけるように取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議において、具体的な取組みや、事例について報告することができた。 ご利用者の住まいを中心にした関係ある方々へ積極的に会いにいき、その人の暮らしぶりについて理解し、私たちもその関係者の中の一つとして機能する手ごたえがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員皆さんで取り組んでいるようで良かった。 忙しい中で、スタッフ一人一人がご利用者に向き合っている姿がみられた。 スタッフ自身で厳しい評価をしていると思った。 ご利用者、御家族の評価が最も大切なのではないかな？ 本人、家族の評価をどのようにとるのが課題 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価で取り組んだ、9項目の具体的な改善計画を丁寧に実行し、運営推進会議の場でその都度報告を行う。 出会うご利用者一人一人について、どんな情報をどのように集めていく必要があるのか、そこからどのようにケアを展開するのか？その人の必要とする方々と共に実践することができる。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 今後も理念に沿って、ご利用者が地域に向向いていける環境づくりを大切にしながらも、そこにはスタッフが寄り添うように努める。施錠は夜間のみ実施しており、継続する。 事業所内での取組みや、出来事等は機関紙にて自治会回覧板にて皆さまにお伝えできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 物理的環境と併せて、自分たちが地域とつながる為に挨拶から始まり行動を起こすこともできた。 毎月発行する機関誌にその時々を取り組みを紹介し、自治会回覧版やご家族へ報告することができた。 地域の方々がさらに入りやすいようきっかけを作り出す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 外壁もなくなり、入りやすくなった。 臭いなども気にかからない。 塀も低く、玄関も鍵もかかかっていないので入りやすい いつも戸も開いているので良い。 外壁が低くなり、交通事故も以前より少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 物理的環境面への配慮は継続しながら、私たち自身が地域へ出向き関係づくりを図っていく。 夜間のみ施錠は継続する。 上半期はスクールガードを通して子供たちの安全を守るよう旗を持ち交差点を見守る。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 出会った人とは積極的に挨拶を交わす。 スタッフの紹介を運営推進会議や機関紙にてお知らせする。 今後も地域行事にご利用者と共に積極的に参加し、出来るだけスタッフが交代に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰とでも挨拶を交わすよう心掛け、実行できた。全スタッフが継続していけるよう徹底する必要がある。 運営推進会議の場に限られたスタッフの参加になっていた。 地域行事の参加スタッフも固定化され、他のスタッフが積極的に参加する機会が得られなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> だいぶ、よかあんべさんのことは理解されていると思う。 サロンや防災訓練、地域コミュニティ活動へ参加している。 あいさつは◎です。 出会った方々と、誰とでも挨拶を交わすことが大切だと思う。 子供たちも、学校帰りに立ち寄る姿もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝のゴミ拾い、挨拶は徹底して取り組んでいく。 地域行事には、ご利用者が参加することができるようにスタッフも同行する。 地域行事には、できるだけ多くのスタッフが交代で参加できるようにする。
D. 地域に向向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者以外の突発的な相談事等にも速やかに民生委員さんや自治会役員の方と連携をとっていく。 その人の地域での暮らしを支える人やものを知り、その人たちに知らないことや相談を持ち掛け、一緒に解決する姿勢を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 何名かのご利用者については、民生委員や自治会の方と顔が付きながら、連携を図ることができた。 数名のご利用者については、その方の関わりの持つ地域の方々と顔を繋ぎ、話し合い、連携を持つことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の民生委員さんや、助けてくださる近隣の方々と交えた会議ができています。 季節によって違いを感じる 外でのお茶、食事の風景が見られるときと、なかなか見かけないときがある。 民生委員の名前は市報に掲載されることになっている。それで確 	<ul style="list-style-type: none"> 総合事業の地域での取組みにおいて、ご利用者が地域に出向ける場を地域の方々とつくっていくことができる。 その人の地域での暮らしを支える人やものを知り、その人たちに知らないことや相談を持ち掛け、一緒に解決する姿勢を持つ。

			認できる。	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の始良市の地域支え合い事業も当会議メンバーを軸に展開していけるようにする。 ・地域の方々への予防活動にも力を入れ、その相談や企画等に当会議を活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も加治木ビューティフル作戦を当運営会議の場を活用して準備し、昨年度を超える参加者となつた。 ・地域の見守り活動等は意見が出たところで足踏み状態であった。毎月一回の体操教室や季節の行事では地域の方々の参加する場として広がりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動をする方々への帽子やジャンパーなどをあればという意見があったが、そのままになっている。 ・他の事業所の運営推進会議で地域住民の個別的な検討はあったりするのか？ ・民生委員やアドバイザーには帽子や襷があるが、他の目印もあつたらよい。 ・ご本人の自覚が無い方の見守りは難しいことがある。 ・他の地域ではゴミ出しをサポートする為に目印を掲げ、そこに手伝いと見守りが働くようにしているところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加治木ビューティフル作戦を地域の方々と協力のもと開催することができる。 ・総合事業の取り組みを通して、地域主体の考えを念頭に当会議のメンバーへの相談、企画等を行っていく。また、その経過を報告するよう努める。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も事業所の防災訓練に地域の方々に参加できるように声をかけていく。また、地域の防災訓練には参加する。 ・運営推進会議にて防災計画を伝える場面をつくる。 ・引き続き、台風等が予測できる場合は事前に自治会長さんや長寿会長さんへ開放の意思をお伝えする。 ・大災害における避難の手段を具体的にしていこうと努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の当事業所の防災訓練には地元の消防隊長に指導をいただいている。 ・防災訓練の実施状況は報告することができたが、計画を事前に報告し、呼びかけることが出来なかった。 ・台風時などは、呼びかけの意識を持って経過をみることもできた。 ・大災害についての具体的避難手段はまだ不明確な部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで防災訓練の運営推進会議のメンバーで参加した方はおられるのか？ ・柁城校区や自治会の防災訓練にも参加されている。 ・災害時は心強い ・台風時の登録者以外の方の泊まりが有り難い ・地域評価の項目については、スタッフも確認をしたほうが良いのではないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の開催の計画を当会議メンバーへ報告し、できるかぎり地域住民と協力して実行できるようにする。 ・柁城校区、自治会の防災訓練へ参加する。 ・台風や災害は状況を予測しながら、事業所の開放等の情報提供を自治会へ行う。 ・火災他、大災害時の避難の手段を具体的にしていこうと努める。